



東京日野プロバスクラブ

創立平成22年9月16日

# プロバスだより

## 第10号

POSITIVE AGING

平成23年9月15日発行

編集・発行:情報委員会

[http://blogs.yahoo.co.jp/pc\\_hino](http://blogs.yahoo.co.jp/pc_hino)

### 第10回 理事会

日時:平成23年8月11日(木) 14:00~15:30

場所:東京飛火野ロータリークラブ事務所

出席者:10名

第9回例会に備えて、具体的な運営に関する事を協議しました。

### 第9回 例会

日時:平成23年8月18日(木) 12:30~14:00

場所:高幡不動尊 客殿2階

出席者:28名 出席率97%(会員総数 29名)

■開会 司会 例会委員長 奥 修兵

■会長挨拶 会長 篠原昭雄

① 8月15日終戦記念日を迎え、今年は戦後66年、特に今年は…「最近の国際情勢(紛争)と平和問題」「東日本大震災の復興」など特に意義ある日となりました。また皆様方それぞれ終戦の日の思い出があると思います。

終戦にちなんで泊谷時男様のメンバースピーチを楽しみにしています。

②創立1周年記念事業の件

- ・第10回例会と式典、祝賀会の3部構成として、実施要領、来賓、アトラクション、記念講演等理事会で検討し、その具体的展開は幹事が報告します。
- ・記念事業として『プロバスだより1周年記念特集号』を全員参加で制作していきます。

■会食

■幹事報告 幹事 澤田研二

①「東京日野プロバスクラブ」の看板が完成。

- ・事務所、高幡不動尊客殿1階、会場入口の3ヶ所に使用します。

②東京日野PC事務所活用の件

- ・地域消防団の仮事務所となり、年内使用出来ません。代わりに、飛火野RC事務所、安西参与氏の事務所を使用して下さい。(今年中)

③「正秋バンド愛のサウンドフェスティバ」について

- ・当PCが協賛し、地域奉仕委員会が参画。
- ・チケット販売に、ご協力下さい。
- ・当日、会場整理に、ご協力下さい。

④創立1周年記念について

- ・9月15日は、例会・式典・祝賀会の3部構成とします。
- ・会場は、客殿2階の半分で例会・式典を実施し、残りの半分で祝賀会を実施。(会場設営は専門業者が実施)
- ・記念事業として『プロバスだより1周年記念特集号』を発行。全員のご協力を、お願いします。

### 創立1周年記念例会・式典・祝賀会次第

■第10回 例会 11:00~11:20

- ・会長挨拶 会長 篠原昭雄
- ・幹事報告 幹事 澤田研二
- ・各委員会報告 各委員長

■創立1周年記念式典 11:20~13:00

- ・開会の挨拶 東京日野PC会長 篠原昭雄
- ・来賓の紹介
- ・来賓祝辞 全日本P協議会副会長 立川富美代  
東京日野RC会長 藤林 良昭  
東京八王子PC会長 佐々木研吾
- ・記念講演 「いのちの限り」  
高幡不動尊金剛寺貫主 川澄祐勝
- ・閉式の詞 東京日野PC副会長 菊池昭雄
- ・プロバスクラブ賛歌

記念写真撮影

■記念祝賀会 13:00~14:30

- ・挨拶 東京日野PC会長 篠原昭雄
- ・祝辞 東京飛火野RC会長 渡邊良勝
- ・乾杯 東京多摩PC会長 大澤 巨
- ・祝宴 東京日野PC 安孫子秀子
- ・中締め 東京日野PC副幹事 佐藤郁夫

### ■委員会報告

例会委員会 委員長 奥 修兵

- ①次回例会時、例会委員の方は、10:30 集合。
- ②出欠確認は、9月1日夕刻までに、連絡。

## 情報委員会 委員長 林 良健

- ①「プロバスだより」第9号が、発行出来ました。
- ②『プロバスだより 1周年記念特集号』を10月例会時に発行。
  - ・全員寄稿する。(本日、情報委員会で原稿募集要領を決定し、後日各自に寄稿案内)
- ③「東京日野プロバスクラブ」パンフレットを8月「ゴルフ会」、9月「日帰りバスハイク」の写真を取り入れて制作する。

## 会員委員会 委員長 鷲尾昭夫

- ① 会員手帳の件
  - ・「会員手帳登録票」を次回例会時に提出。
  - ・次回欠席の方は、事前に各委員長へお渡し、委員長が当日持参し提出。
  - ・10月例会時に会員手帳をお渡しします。

## 研修委員会 委員長 小島康義

- ①第1回研修会(日帰りバスハイク)案内
  - ・申し込み締め切り：本日
- ②ゴルフの件
  - ・8月26日・河口湖カントリークラブ
  - ・3組で実施。

## 地域奉仕委員会 委員長 山本英次

- ①“気にかげ”運動
  - ・現時点では、組織として対応することは、難しいので、周りに対象者がいらっしゃれば、個人的に“気にかげ”ていく。
- ②「正秋バンド愛のサウンドフェスティバル」
  - ・チケット販売に協力する。(代金は当日)
  - ・当日、会場整理に協力する。(案内係5名、13:00 集合)
- ③施設訪問
  - ・PCで出来る地域奉仕活動として、各種施設を訪問し、慰安活動を計画しています。
  - ・具体的訪問施設、慰安内容を検討中

## ■ その他 副会長 菊池昭雄

- ・平成23年度東京日野プロバスクラブ・スケジュール表(上半期、下半期)に各委員会の事業計画を入れて最新版を発行しました。

## ■ メンバースピーチ

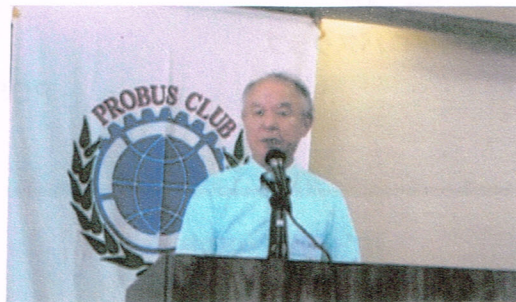
### 「終戦記念日に想う！」

私の波乱万丈の人生

会員委員 泊谷時男

私の生い立ちは昭和17年3月横須賀海軍病院で生まれました。父は、私の生れる1ヶ月前にフィリピン沖で、艦船もろとも戦死しました。

2歳で鎌倉保育園(養護施設)に預けられ、中学卒業まで、お世話になりました。夜間高校に通いながら造船会社に入社して、溶接工の勉強をしていました。



私は、卒園するまでに、2回ほど泣いたことを覚えています。

1回目は、嬉し涙でした。小学校へ入学した時でした。初めての給食に出たコッペパン1個を全部食べたかったのですが、私の帰りを待っている弟達に分けたいので、半分をカバンに入れ学校を飛び出していました。

翌日からは、カバンに入り切れないほどのパンが入っていました。担任の先生が食べ盛りの子が「何で残すのか？」をクラスの子に聞いたら「時男は施設の子だから、おみやげにするんだ」と言ったそうです。私に気付かれないように、クラス会で協力しようと話し合ったそうです。

園に帰って弟、妹達に貰ってきたパンを配り、皆の喜ぶ笑顔を見て、クラスメイトの優しさに、つい嬉し涙を流してしまいました。

2回目は、就職試験で、ほぼ内定していたのに不採用の知らせでした。先生に理由を聞くと、「泊谷君には、両親が居ないので、身元保証人が居ないから…」とのことでした。自分に両親が居ないのは、私の責任ではない！…と先生に訴えたら、先生も「ごめんね！」と一緒に悔し涙を流してくれました。その後は、負けず嫌いの人生を歩んで来ました。

48年ぶりに、私の人生に奇蹟が起きました。八王子の「うかい亭」の創業に成功し、料理長として頑張っていました。体調を崩して「うかい亭」を辞めるかどうか悩んだ時、お客様からある老人ホームに案内され、そこでご老人を紹介されました。その方は、なんと素晴らしい靈感をお持ちの元大僧正でした。

その方と対面した瞬間『あなたに死相が出ているので、すぐに今の店を辞めなさい。八王子を離れて、日野で夫婦2人だけで、“大洋軒”の店名で、開業しなさい。私は残り半年の命で、マスターの頑張っている姿を見ることは出来ませ

んが、「大洋軒」の10周年48歳の誕生日には、必ず奇蹟が起こるから、それを信じて頑張ってください！』と励ましてくれました。

その方は大洋軒がオープンして10日後に92歳で亡くされました。

10周年を迎えた当日、お礼のお墓参りから帰って来るなり、運命の電話がありました。

電話は、「時男君を48年間探し続けていた」という内容で、相手先は、生き別れの母の姉(叔母)からでした。天涯孤独だと想っていたのに、叔母さんからで、どうしても逢いたいとの声を聞き、全身に鳥肌が起きました。

その後は、嬉し涙、涙で仕事にも手が付かず、大変でした。



叔母と育ての母(鎌倉保育園長)

そんな時、日本テレビの池田プロデューサーが来店され、叔母との感動的対面の瞬間を記録として残したいとのことでした。

叔母に逢えば生き別れの母の消息を知ることが出来ると期待していましたが、残念ながら分らずじまいでした。

しかしその後、宜保愛子様との出会いで、母は再婚し、千葉で幸せに暮らしていましたが、既に亡くなっていたことがわかりました。

私のルーツを探るために、3日間テレビクルーと一緒に行動した記録をTBSで編集中、たまたまTBSの社長がテープを見て、「世の中の人達に、真実の奇蹟を報道すべき」との願いで、『木曜スペシャル、これが宜保愛子の霊能力』に出演、放映されました。



国際海洋高校生のお孫さんと

## ■閉会

副会長 菊池昭雄

只今の泊谷様の体験は胸に迫るものがありました。皆様方にも同じように苦勞された方もいらっしゃるかも知れませんが、このプロバスの場で泊谷様の体験を皆で享受して、我々の人生に意義あるものにしたいと思います。

1周年記念例会・式典・祝賀会には、皆で力を合わせて行いたいと思います。

## ■研修推進委員会 活動報告

### ゴルフ部会

ゴルフ部会長 黒澤直明

東京日野プロバスクラブ・ゴルフ部会 待望の第1回ゴルフコンペを、8月26日(金)河口湖カントリークラブで天候に恵まれ和やかに開催。

- ・参加者10名3組(安西、市川、黒澤、小島、後藤 紀之、田村、矢野、鷺尾、渡辺明、渡辺千賀子)
- ・ダブルペリア方式競技で、優勝:矢野、準優勝 田村、3位:黒澤、7位:安西 各氏が入賞。
- ・ニアピン賞:後藤、渡辺千賀子、矢野の各氏



河口湖カントリークラブは、標高1,000メートルを超え、真夏でも木陰の風も爽やかでした。

82歳の市川氏を筆頭に、全員元気に2時にプレー完了。コンペルームで和やかに表彰式、懇親パーティーを行い、楽しさを倍加させようと日野駅前「さかえや」で反省会。入賞者を含む8名でおおいに食べ、飲み歓談。8時散会。

## 編集後記

\*\*\*\*\*

■一ヶ月の早さに、啞然とするうちに、1年経過してしまいました。「1周年記念特集号」で、新たにスタートしたいと思います。